

# 市民サービスの切り捨てなどを理由に反対

## 日本共産党議員団を代表して上野議員が新年度一般会計予算などで討論

3月議会の最終日、日本共産党議員団を代表して上野議員が討論をしました。新年度一般会計予算と新年度国民健康保険特別会計予算についての討論概要を紹介します。

### 新年度一般会計予算について

①行財政改革に基づく事務事業の見直しによって、地域住民の安全安心にかかわる総合事務所の宿直の廃止などを含めた機能縮小が行われようとしています。事務事業見直しは、広島平和式典への中学生派遣事業の後退、小規模事業者の仕事づくりと市内経済活性化に大きな役割を果たしてきた住宅リフォーム促進事業や商店リニューアル助成事業の減額などにも及んでいます。

②昨年10月からの消費税10%への増税の無批判な容認と定期的な受益者負担

の適正化見直しの名の下での公共施設使用料・利用料の大幅な引き上げが反映されています。この結果、市民の負担は確実に増えています。

③子どもの成長や食育などにかかわる学校教育の一貫である学校給食の調理業務の民間委託がさらに拡大されていることも問題です。

いま、昨年秋の消費税増税、少雪による事業者の収益の大幅な減少、加えてコロナウィルスの影響によって、市民活力が減退し、未曾有の経済の悪化が進んでいます。こうした時こそ、お金の使い方を改め、市民の負担を軽減し、中小規模事業者に寄り添った経済の活性化と家計消費拡大に資する施策にこそ重点をシフトすべきです。

確かに子どもの医療費助成の拡大や幼児保育・教育への予算配分など子育て支援策など評価できる点もいくつかみられますが、基本的には今ほど述べ

た安全安心な住民の暮らしの市政からは極めて不十分であると言わざるを得ません。よって、令和2年度一般会計予算には反対です。

### 国民健康保険特別会計について

被保険者の多くが低所得者であるにもかかわらず、保険料が高いという構造的な問題を抱えています。

全国知事会や、全国市長会など地方団体が国に国費の1兆円の導入要望していることはご案内の通りです。医療給付を保ちつつ負担を下げるには、国保への1兆円投入を実現し、また国の負担割合を元に戻すこと、さらに、全国各地で取り組みが始まっている、子どもの均等割りの免除や減額といった、抜本的な制度改正が必要です。

市においても一般会計からの法定外繰り入れを思い切って行うなどの手だてが必要です。その姿勢が見られないことは問題です。よって賛成することができません。



## 三遊亭白鳥さんを励ましたサクラ 今年も満開です

2年前の「全国桜シンポジウム」で三遊亭白鳥さんが明らかにされた「唄家になろうと苦しんでいたときに、夢の中で白鳥さんを励ましたサクラの木」。西城町の岡田橋のそばにあります。今年も見事な花姿を見せてくれています。多くの方が訪れていました。



先週号でお知らせした「新型コロナQ&A」パンフレットが好評です。まだ在庫がありますので、遠慮なくご連絡ください。無料で提供しています。写真は飲食店の方がこのパンフレットを読まれているところです。

### 「新型コロナQ&A」 注文相次ぐ



【アズマシロカネソウ】キンポウゲ科の多年草。漢字で「東白金草」と書きます。花は黄緑色で外側が紫色っぽくなっています。初めて出会ったのは数年前の5月、大島区の菖蒲高原でした。今回は3月29日、吉川区川谷です。ホクリクネコノメソウのそばで咲いていました。

# はしづめ法一の 活動レポート

No.1955 2020.4.12

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第六の二回

## ハプニング

あなたは、これまでの人生で、まったく予想もしなかった事態に遭遇したことはありませんか。

三日のお昼過ぎのことでした。直江津の三八市で知り合ったM子さん宅へ私の活動レポートを届けに行ったところ、門の近くでM子さんの車のストップランプが点いていました。

車の近くまで行くと、「コンコン」という音が繰り返し聞こえてきます。何だろうと思い、車のそばまで行くと、車の中にはM子さんの姿があるじゃありませんか。M子さんは盛んに運転席側のガラスをたたいていたのです。最初は何のことかわからなかったのですが、「コンコン」は「ドアを開けてくれ」という合図だったのです。しかし、車のドアは外から開けようとしても開きませんでした。完全にロック状態になっていたのです。

M子さんが何かしゃべっていたので、ガラスに耳をくっつけて聞くと、私の後ろにバッグがある、そこに車のカギが入っているのだから開けてくれ、とM子さんが叫びました。

M子さんに見えるようにしてバッグの中をさぐると、小銭入れと一緒にカギが入っていました。カギは流行りの型で、オン、オフを押すだけでドアを開閉できるようになっていました。

私はすぐにオフを押し、ドアを開けました。開けると同時に、M子さんは、「助かったあー、一生忘れられないわ」と言いました。顔はいくぶん赤くなっているように見えました。

M子さんによると、私がそばに行くまで、車の中で少なくとも一時間は悪戦苦闘していたと言います。ドアを開けようという試みをしたのでしょうか。でも開けなかつた。誰も来ないし、不安は募るばかりです。こうなれば、午後一時頃にやってくる

はずの人が見つめてくれるまではダメか。そう思っていたところへ、私が訪ねて行ったのでした。

興奮していたM子さんの肩を抱き、「よかったね。昨日でなくて、きょうでよかった」と慰めの言葉をかけました。じつは、本来なら前日にM子さん宅へ行くはずだったのです。それが偶然、一日遅れになり、今回の事態に出会ったというわけです。

センサーの不具合があったのでしようか、それとも、車の中でM子さんがどこかにさわりロックしてしまったのでしょうか。カギが車外にあるのに、なぜロック状態になったのかはよくわかりません。

車の中に「閉じ込められた」状態となったM子さんは、いろいろな手段で外にアピールしたそうです。そのアピールに唯一応えてくれたのは、人間ではなく、M子さんが飼っているネコでした。このネコはM子さんのことを心配してボンネットの上に乗ったり下りたりしていたといいますから驚きました。

しばらくして、M子さんは落ち着きを取り戻し、キクザキイチゲやカタクリなどに咲く野の花のことや門の近くにある大きな桜の木の歩みなどを話してくれました。

この日、青空が大きく広がったなかで、門の近くにある大きな桜の木の花は満開でした。何というサクラかは聞きませんでした。だが、花の大きさはソメイヨシノよりも小さいものの、たくさんの白い花を付けていて、花のアピール度は抜群でした。

桜の木の樹齢は少なくとも六二年。M子さんが嫁いできたときに持参したものとかが、幹の内部には大きな空洞もでき、満身創痍といった感じでした。それでも見事に花を咲かせていました。二人で、この桜の木を見上げていたら、車をめぐるハプニングのことなごすっから話していました。

## 「春よ来い」の第6集、届く

3月31日の午前、宣伝行動に出る前に郵便屋さんから分厚い郵便物を配達してくださいました。私は「あっ、先生からだな」と直感しました。

じつは私の随想シリーズ「春よ来い」が100回を重ねるたびに一冊の本にまとめてくださる方がおられるのです。新潟市在住の地学団体研究会メンバー、大野隆一郎さん

です。米山や尾神岳がどのようにできたかなど、地質の面から深く研究されていて、私も現地調査に同行させてもらったことがあります。

大野先生はこれまで、「春よ来い」が100号、200号、300号、400号、500号と区切りの号数に到達するごとに1冊にまとめてくださいました。今回が6冊目になります。

「春よ来い」は冊子が届いた2日前の29日、600回に到達したばかりですが、「もう一冊にまとめてくださったのか」と感激しました。

冊子は「世界にたった一冊」しかありません。私にとっては一生の宝物です。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月1日(水)	4月8日(水)
上越南消防署	0.047	0.043
上越北消防署	0.043	0.047
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.050	0.057
名立分遣所	0.053	0.047